

多賀町立小中学校校務支援システム利用事業評価基準

No.	項目	評価内容	配点
1. 企画提案の総論			
1	事業の目的及び 内容の理解度	<ul style="list-style-type: none"> 提案全体として、多賀町の教育現場の状況を把握しており、本業務の目的及び内容を十分に理解した内容となっているか 提案内容が、校務DX（教員の働き方改革および教育データの利活用）に資する統合型校務支援システムとしてふさわしいか 	5
2. 校務支援システム整備の準備体制			
2	整備業務の準備	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題、教員の業務課題について独自に検討し、町と町立学校の課題解決を支援できる体制を整えているか 次世代の校務DXへの対応を考慮しているか 	10
3	データの移行方法	<ul style="list-style-type: none"> 学校現場に負担をかけないデータ移行の方法を計画しているか 旧システムのデータ構造によらず移行できるか 過去データの扱い方が適切か 	10
3. 校務支援システムについて			
4	機能性と技術要件	<ul style="list-style-type: none"> システムの拡張性、カスタマイズ性、ユーザビリティなど データの一元化が実現できるか 	20
5	セキュリティとプライバシー	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護やセキュリティ対策が適切に行われているか アクセス制御やデータ暗号化等の実装 教職員、児童生徒、保護者、教員委員会それぞれが利用する前提で対策が講じられているか 	20
6	運用サポート体制と保守	<ul style="list-style-type: none"> システムの運用サポート体制や保守計画は設計は適切か バックアップの考え方は適切か 文科省の制度等に対応したバージョンアップが可能か 	10
7	他システムとの連携等	<ul style="list-style-type: none"> 他のシステムやクラウドサービスとの間のデータ連携が可能な仕組みか 	10
4. 提案価格等			
8	提案価格	<ul style="list-style-type: none"> 計算式：配点 × (最も低い見積金額／提案者の見積金額) ※小数第2位を切り捨て 	15
			100